

# 復興金融ネットワーク交流会資料

あぶくま信用金庫の復興支援事例について

平成26年11月26日



# あぶくま信用金庫の現況

## 主な指標の推移

	23年3月期 (震災時)	26年3月期 (直近決算)	26年9月期 (現在)	23年3月期 対 26年9月期
職員数 (名)	181	123	130	△ 51
(うちパート職員) (名)	(27)	(14)	(16)	(△11)
預金残高 (百万円)	123,895	229,314	256,300	+132,405
貸出金残高 (百万円)	60,197	63,603	67,667	+7,470
一人当たり預貸金 (百万円)	1,195	2,687	2,841	+1,646
当期純利益 (百万円)	157	3,779	1,023	+866
経費率 (%)	1.40	0.73	0.65	△ 0.75
総資金利鞘 (%)	0.29	0.28	0.26	△ 0.03
自己資本比率 (%)	15.52	40.39	37.88	+22.36

## 【復興支援事例1】

東日本大震災により被害を受けた取引先への複合支援事例

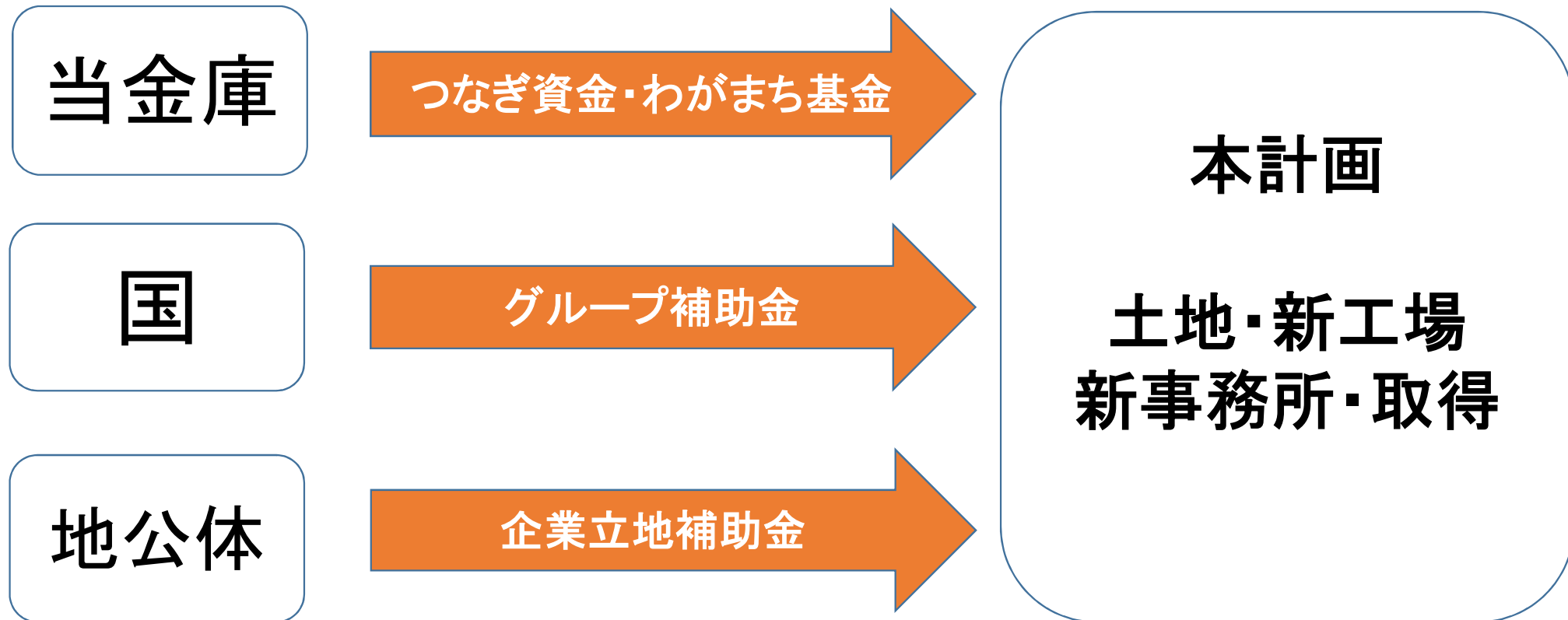
当金庫取引先であるA社(印刷業:南相馬市)は、平成17年に東京工場・営業所を開設する等、積極的な事業展開を行っていましたが、東日本大震災による地震と津波により本社事務所兼工場が被害を受け操業不能となりました。

また原発事故の影響により従業員が避難を強いられ原町工場は4ヶ月間休業し、売上は激減してしまいました。

当金庫は、代表者より事務所・工場の新築と最新型印刷機購入の相談を受け、資金調達は当金庫のほかグループ補助金・企業立地補助金を利用し完成することが出来ました。



# 新事務所・工場資金調達概要



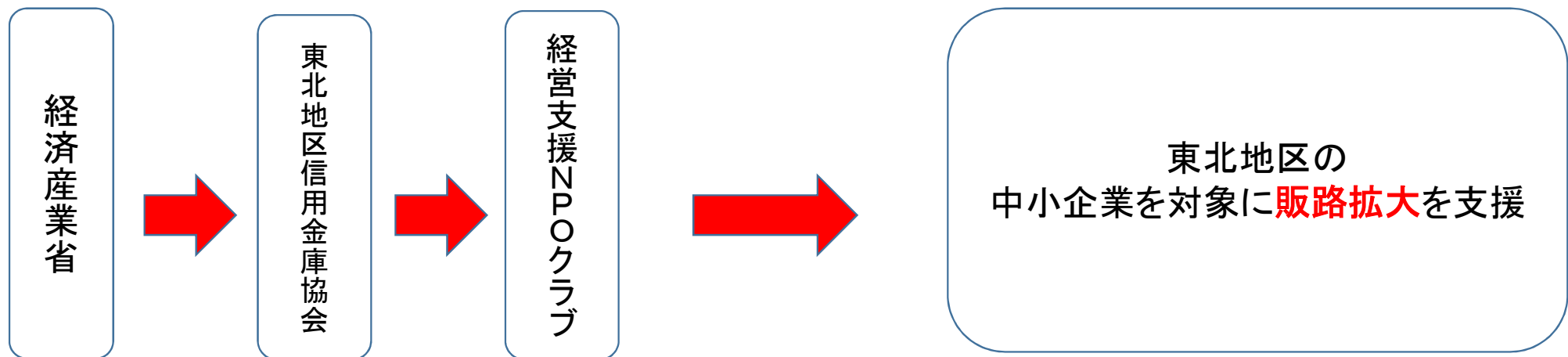
販路拡大支援においてはビジネスマッチ東北に出展することを提案し、ハンズオン支援事業にエントリーいたしました。

ハンズオン支援事業は経済産業省が東北復興支援のため、東北地方の中小企業を対象に、販路開拓先を紹介・支援する事業であります。

「印刷業は販路開拓には難しい業種である」との話もありましたが、優れた機械、製品、国内最大級の出力工場等をアピールし、支援先に選出され、7先の企業を紹介いただきました。

既に2社から受注を受け、納品致しております。

## ハンズオン支援事業



## 信用金庫業界と協調したマッチング支援および販路拡大支援

### ・ビジネスマッチ東北

(一社)東北地区信用金庫協会が主催するビジネスマッチ支援事業。平成26年度は11月に開催。

### ・ビジネスマッチ東北ハンズオン支援事業

(一社)東北地区信用金庫協会が主催する、NPO法人等のコーディネーターを活用した販路開拓支援事業。平成26年度、当金庫からは3社が応募し、2社の支援が決定

### ・信金発！地域発見フェア

(一社)東京都信用金庫協会主催する全国の信用金庫のイチオシ企業が参加するビジネスマッチ支援事業。平成26年11月に東京ドームで開催。

### ・“よい仕事おこし”フェア

東北の全信用金庫および東京都内を中心とした35金庫の協賛で開催されるビジネスマッチ支援事業。平成26年度は8月に東京国際フォーラムで開催。

## 【復興支援事例2】

福島第一原発事故により被災した中小企業への(公財)三菱商事復興支援財団および「しんきんの絆」等を活用した支援事例

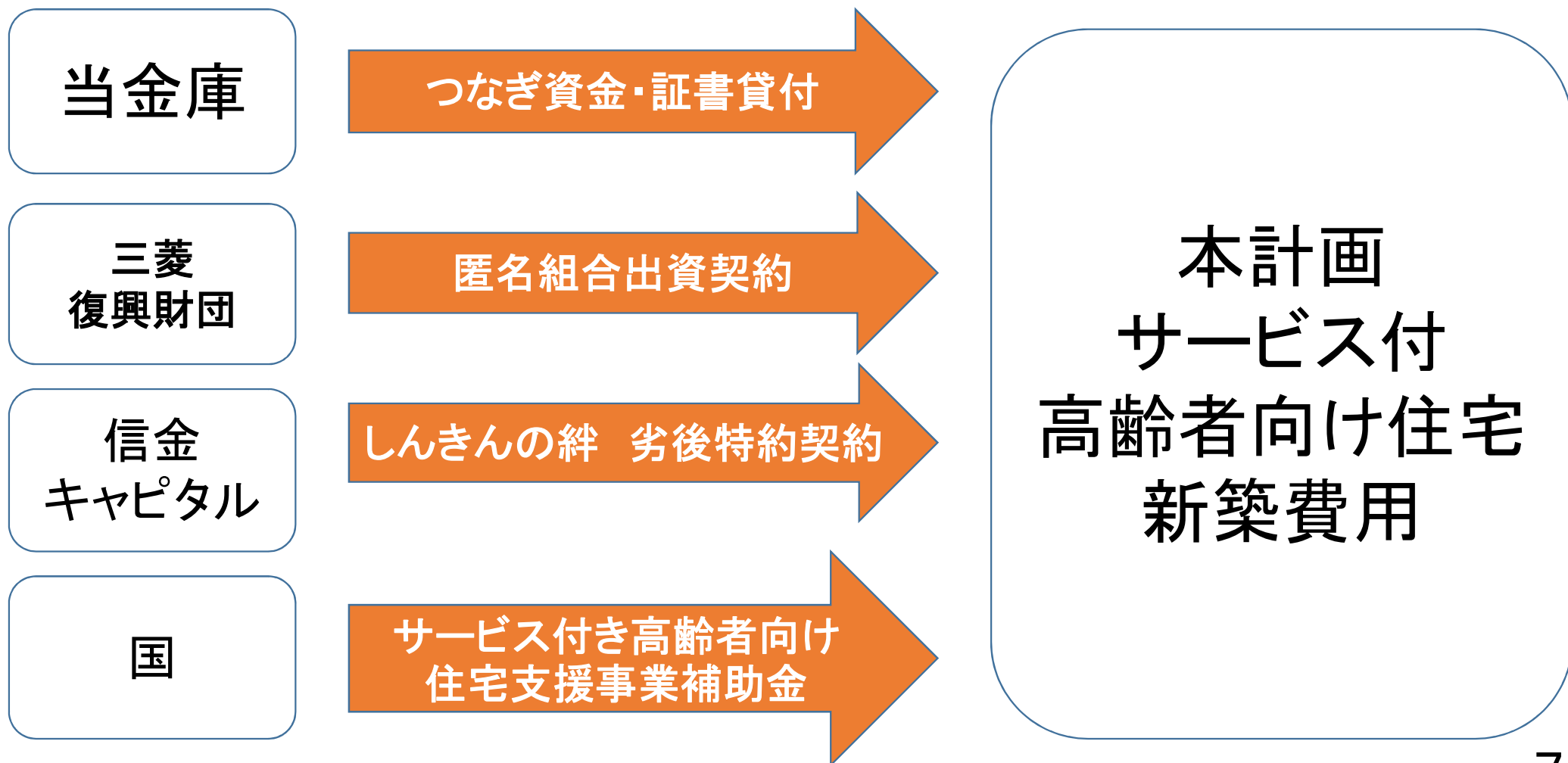
当金庫のお取引先B社(介護支援業:南相馬市)は、南相馬市小高区で訪問介護、デイサービスを中心とした介護支援事業を行っていましたが、福島第一原発事故により休業を余儀なくされたため、施設を南相馬市鹿島区および原町区に移転し事業を再開しております。

同社は、仮設住宅等に避難している高齢者の介護ニーズに対応するため、南相馬市原町区にサービス付高齢者住宅を建設する計画について、当金庫に相談されました。

当金庫は、長期の資金要望に対応するため、(公財)三菱商事復興支援財団および「しんきんの絆」の資本金借入金の活用を提案し、平成26年にオープンしております。



# 「サービス付高齢者向け住宅」 建設資金調達の概要





## 【復興支援事例3】

福島第一原発事故により被災した取引先へのグループ補助金、(公財)日本財団「わがまち基金」、(公財)三菱商事復興支援財団を活用した複合支援事例

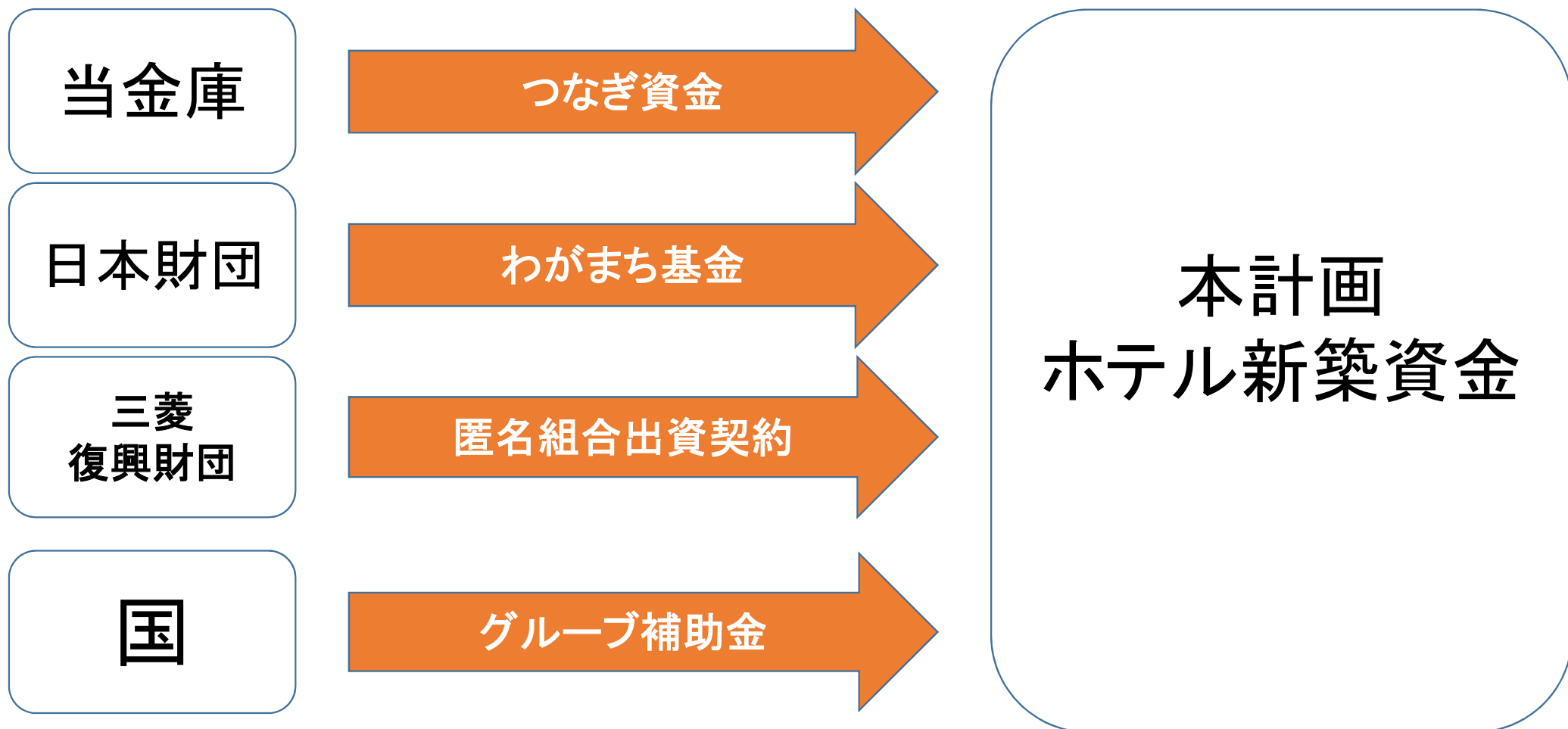
ホテル業を営むC社(ホテル業:双葉郡富岡町)は、福島第一原発の15km圏内でホテル、レストランを営業し、東京電力関連のリピーター顧客を中心に安定した業績を上げておりました。

同社は、福島第一原発事故後、休業を余儀なくされ、再開の目処が立たないことから、いわき市内でのホテル再開を計画し、当金庫に相談されました。

当金庫は、「グループ補助金」の利用を同社に提案し、補助金申請手続き等の支援を行うとともに、(公財)日本財団「わがまち基金」、(公財)三菱商事復興支援財団の活用も併せて提案し、順次支援を実行いたしました。平成26年にホテルが完成し、営業を開始しております。



# 「ホテル新築」 建設資金調達の概要



## 財団法人等と協調した復興支援

### ・公益財団法人 日本財団と協調した復興支援

当金庫は、(公財)日本財団「わがまち基金」プロジェクトと連携し、被災により事業再開が困難にある事業者、被災地で新たな事業を開始する事業者、被災地の復興に資する事業者およびソーシャルビジネスやコミュニティビジネスを行う事業者・非営利団体等を対象に、(一社)あぶくま復興基金を通じて利子補給を行う融資商品「あぶくま『わがまち基金』」の取扱いを平成25年12月より開始しております。

### ・公益財団法人 三菱商事復興支援財団と協調した復興支援

当金庫は、平成25年1月から(公財)三菱商事復興支援財団と共同で、東日本大震災の被災地における産業復興支援に取り組んでおります。

当財団は、被災地域において事業再生に取り組む中小企業の支援を図るため、被災地の復興に必要と認定された事業者を対象に、資本充実のための資金を供給しております。

### ・事業再生ファンドの活用

復興支援ファンド「しんきんの絆」は、被災地域で事業再生に取り組む中小企業を支援することを目的としており、被災されたお取引先がファンドからの資本供与を受けた後も、当金庫が引き続き資金繰りなどの支援を行うことが可能なスキームとなっております。

本資料に関するお問い合わせは

あぶくま信用金庫 業務推進部

TEL0244-23-5132